

西光寺だより

第七〇号 平成二八年 六月一日発行

●今月のことば●

今回は天親菩薩でございます。数多くの書物の中ご自身の宗教的心情を述べられた書物『無量寿経優婆提舍願生偈』（Ⅱ『浄土論』または『往生偈』）があります。それは『無量寿経』の教えに出遭われ、阿弥陀如来に向かつて一心に帰命することにより、安楽浄土に生まれることを願うべきであること、そしてその往生の道として、阿弥陀如来への五念門という五つの方法を順次おさめて、浄土に往生し、悟りを開いて自らが仏（自力）となり、煩惱の林に還つて一切の衆生を救済する（利他）道を歩むべきであると教えて下さっています。

〈五念門〉①身に阿弥陀仏を礼拝し

②口に仏名を称え阿弥陀仏の功德を讃え

③一心に往生を念じて心を乱さず

④阿弥陀仏・菩薩・浄土のありさまを思い

⑤自己の功德を衆生にふりむけ、共に浄土往生を願う

天親菩薩造論説・・・天親菩薩は『浄土論』をつくつて、説かれた

帰命無碍光如来・・・何ものにも妨げられることなく救つて下さる如来を信じ

て

依修多羅頭真実・・・経典（修多羅）に依りて真実をあらわして

光闡横超大誓願・・・すみやかに仏になる法（横超大誓願）を広く説かれた

広由本願力回向・・・広大な阿弥陀如来の第十八願の本願力のはたらきによつ

て

為度群生彰一心・・・群生（衆生）を救う（度す）ため一心をあきらかにされ

た
帰入功德大宝海・・・大きな功德の宝海（名号）に帰入（信ずる）すれば
必獲入大会衆数・・・必ずお浄土の大会衆数の仲間に入り
得至蓮華藏世界・・・命終とともに阿弥陀如来のお浄土（蓮華藏世界）に生ま

れて

即証真如法性身・・・お浄土でただちに阿弥陀如来と同じ仏（真如法性身）と

なり

遊煩惱林現神通・・・煩惱の盛んな世界に遊んで神通力（人間を超えた不思議

なはたらき）をあらわし

入生死園示応化・・・迷いの世界にかえつて衆生を救うことができると示され

た

（法蔵館正信偈もの知り帳・レッツ正信偈参考）

【解説】

●修多羅・・・サンスクリット語で「スートラ」といい、「お経」という意味。

●横超大誓願・・・他力のすぐれた誓願。

●一心・・・二心なく疑いがないということ、すなわち他力の信心。

●大会衆数・・・菩薩

●蓮華藏世界・・・阿弥陀仏の極楽浄土。普通、蓮華藏世界といえば、『華嚴経』や『梵網経』に説かれる毘盧遮那仏（東大寺の大仏）の浄土ですが、『浄土論』の蓮華藏世界は阿弥陀仏をいいます。それは、蓮華から出生した世界であり、蓮華が泥沼に咲きながら泥に染まらないように、阿弥陀仏の浄土は衆生の煩惱に汚れない清浄円満な世界であるからです。

●遊・・・遊戯の意味で、衆生を救うことが自由自在にできるといふ意味と、救つても救つてやったと執着しないことを意味するのだそうです。

●迷いの世界にかえつて・・・浄土真宗の教義にもある語文であります。迷いの世界にかえると聞くと何か霊的な事を想像する人が多くおられると思いますが、そうではなく浄土に往生したものは、かならずこの世界に還り来て、さまざまな縁を通して人々に仏法をすすめていくということでありま

◆六・七月の行事◆

・六月 八日(火)～九(水)

茨木東組聖跡巡拝バスツアー

兵庫・淡路島方面

・六月 十五日(水)

茨木東組総代会総会

午後二時～三時半

常稱寺

◆先月の報告◆

この度、ご門徒の木村威英様が五月二十七日(金)～三〇日(月)の三泊四日の日程で京都本願寺・聞法会館で、平成二八年度第二四七回門徒推進員中央教修を受けてこられ、晴れて「門徒推進員」となられました。

茨木東組連続研修会を経て受ける事ができる門徒推進員。自他共に心豊かに生きることのできる「御同朋の社会」の実現をめざして、門徒として僧侶とともに宗門の「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)にとりくむ強力な推進者の養成を目的として行われるものであります。

全国の同じ教えをいただくご門徒さんと一緒に様々なテーマをもとに話し合い法座(法に問い、法を聞き、法を語る場)を行いながら交流を深められました。

そしてその期間中に帰敬式を受けられ法名を頂かれました。本願寺御影堂の凜とはりつめた空気感を感じながら、一生に一度のご縁を経験されました。私ども西光寺にとりましても大変喜ばしいことであります。

中央教習を無事に終えられご自宅に帰られる際、お寺に寄っていただきま

して「大変貴重な時間を過ごすことができ本当に良かったです」とおっしゃっていただけるお顔がとても印象的でした。そのお言葉を聞いてわたくしも胸がいつぱいになる思いでありました。ありがとうございます。そして本当にお疲れ様でございました。

合掌



代表で参加者の法名を受け取られました



浄土真宗本願寺派 白毫山 西光寺

大阪府茨木市西河原一七一二

電話 〇七二一六二二一四七九四

FAX 〇七二一六二二一九二九一

<http://www.osaka-saikouji.net/>